

す ま い る

4園3小1中 箱根教育合言葉 「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

緊急事態宣言が解除になり、箱根は人手が増えてきました。今まで外出を控えてきた人にとっては、箱根の自然に触れ、癒されたいと思う人も少なくないのかもしれませんが。観光で成り立っている箱根ですから、集客が増えないのでは困りますが、人が集まることにはまだまだ不安も感じます。園では、感染予防に心がけながら何が子ども達にとって必要な経験かを見極め、安全を考慮し、学びに繋がる体験の保障をしていきたいと思っています。

9月の終わりには、「運動遊びの日」として親子で身体を動かす機会を作りました。経験のある年中・年長児は、イメージを膨らませながら、どんなことをしたいかを考え意見を出し合っていました。子ども達の企画力は大人の考えをいつも上回っていきます。競技の中に、「虫取り」が入ることは想像できないことでした。トカゲやバッタがどこに住んでいるのかを知っているからこそ出てきた競技なのでしょう。もちろん、すべて子どもだけの考えではありません。その中には保育者がそれぞれの発達で経験してほしいことも組み込まれています。しかし、それを無理に入れ込むのではなく、**普段の遊びの環境の中にそっと用意し、やってみようという気持ちを引き出していくよう担任は工夫をしていました。**ですから、運動遊びの日にも保育者の経験して欲しいことが、子どものやりたいことのひとつに加わっていくのです。「物取り競争」は、マット10点、タイヤ5点、かご2点、ボール1点とそれぞれの持ち点が違い、自分の陣地にまで運び、その合計点で競います。力やスピードも大切ですが、何をどうとったらよいかチームで考えていくことの面白さがあります。年長児が中心に作戦を立て何度も考えを変えていきました。これは、箱根幼稚園の恒例競技になりそうですね。初めは、競技の意味が分からなかった年少児も繰り返す中で、得点を稼ぐためにはどうしたらよいかを考えチームの一員として頑張っていたと思います。当日までには、競技に負けて悔しい思いをしたり、チームの中で自分の思いが通らなかつたり、挑戦していることがすぐにはできなかった場面などが見られました。それを乗り越えてきた子ども達です。年少児は「自分が楽しく」をモットーに…。年中児は年長児の背中を見て、勝敗も意識して。年長児は、同じチームの異年齢児の面倒を見ながら…。跳び箱などができる、競技に勝つだけではない、貴重な体験が当日までの過程の中に見受けられました。保護者の方とも一緒に身体を動かした楽しさが子ども達の大きな喜びにもなったようです。今もリレーや跳び箱は、やりたい遊びの一つで熱中していることになっています。

10月4日、延期になっていた年長児の親子ハイキングが実施されました。目的地は、富士見ヶ丘公園。今年も金子さんにガイドをお願いし、子ども達は意気揚々と、大人は一抹の不安を感じながらのスタート。50Mごとに目印が書いてある札を見つけては記録として写真を撮る子、何のためにその札があるかを考える子、お母さんを心配して手を引いていく子。山登りの楽しみ方は色々です。黄色くなり落ちた桜の葉の香りを嗅ぐとほのかに「桜餅」の香りがし、くろもじの葉の爽やかな香りに大人は癒されながら登っていきました。途中笹の葉の隙間から見える芦ノ湖の景色を見ると、箱根の良さをまた実感することができました。富士見ヶ丘公園の手前にある展望台では、年少中児が散歩に出かけている恩賜公園に向かって大きな声で呼びかけました。園に戻ってその話をすると、ちょうど同時刻に恩賜公園から年長児に向かって声を掛けていたそうです。お互いに「声が聞こえた。」という子ども達。ちゃんとお互いの心には届いていたのですね。頂上に着いた時の爽快感とお弁当のおいしいこと。その後始まった、お菓子交換会で元気をもらい下山です。山登りは登りよりも下りが難しい。段差のある所ではどこに足を掛けたら安全に下りられるか。頭も体も使います。決して楽に行かれた場所ではないですが、始終振り返りながら「大丈夫?」「ここは危ないよ」など周りの人を心配する様子に、年長児の優しさに触れ、心の育ちを感じました。「山登り」の体験の中には、体を動かすことの楽しさ「健康な心と体」だけでなく、同じ目的に向かって頑張ろうとする「協同性」あきらめずに最後まで頑張る「自立心」どの道はどう歩いたらいいか考える「思考力」その考えを伝え合う「言葉の伝え合い」秋の草花や風の心地よさなどの「自然とのかかわり」看板の文字や数字に興味を持ち「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」などなど幼児期に育てたい姿が複合的に育まれていくことがよくわかります。次は、宮城野保育園の友達と「大文字山」に挑戦します!



歩道橋の工事が始まります。20日から1週間程度は、鏝を取る作業のため通行止めになります。その他は、片側通行になるそうです。通行には十分気を付けていきたいと思っています。